

## (1) 経済成長戦略としての視点

- I : 人口減少社会の中で、産業の生産性向上を図り、我が国経済の維持・拡大を実現するために港湾がどのような役割を果たすべきか。
- II : アジアの経済成長や世界的な経済連携が進む中、海外の活力を取り込むとともに、我が国の輸出促進等のために、世界戦略的視点に立った港湾政策をどう展開すべきか。
- III : 地域経済の活性化を図るために、臨海部の利活用や産業構造の再編等の動向を踏まえ、港湾政策をどう展開すべきか。
- IV : 社会の情報化やシステム化が進展する中、新たな技術を港湾政策の中でどのように活用していくべきか。

## (2) 港湾防災・セキュリティ政策としての視点

- V : 人命や産業が集中する臨海部において、自然災害リスクに対してどのように備えるべきか。また、高まる国際テロ等の脅威にどのように対応していくべきか。

## (3) 資源・環境・エネルギー政策としての視点

- VI : 輸入依存度の高い資源・エネルギーを将来にわたって安定的かつ低廉に確保するために、港湾がどのような役割を果たすべきか。
- VII : 世界的に地球環境問題への関心が高まる中、再生可能エネルギーの普及や環境との調和を図るために港湾政策をどう展開すべきか。